



Doshisha University Academic Repository

同志社大学学術リポジトリ

2015年度春学期修士論文テーマ一覧

著者	同志社大学政策学会
雑誌名	同志社政策科学研究
巻	17
号	2
ページ	111-111
発行年	2016-03-10
権利	同志社大学政策学会
URL	http://doi.org/10.14988/pa.2017.0000014409

2015 年度春学期修士論文テーマ一覧

2015 年度春学期において、修士論文を提出し、修了が認定された修了生について、氏名と研究テーマを以下に示します。

氏 名：甫坂 亮麻

題 目：洛西ニュータウンの高齢者の住みやすいまちに向けた研究

一買い物支援による社会実験を通して一

梗 概：本研究の目的は、京都市の洛西ニュータウンを対象に、高齢者の住みやすいまちへ向けた試みとして、買い物支援の方法を検討し、それを通じて、NPO と学生が主体となり地域に根ざした支援をすることこそが、高齢者が「よりよく生きる」地域社会をつくりあげることができるという政策モデルを示すことにある。

洛西ニュータウン内では、交通弱者とされる高齢者等は日々の買い物に困ることが予想されており、買い物支援に対するニーズの調査を行うとともに、そのニーズに応える方法として買い物同行支援を試行した。調査をとおして、買い物支援のニーズは確実にあること、また、買い物同行支援をとおして「自分の目で見て買いたい」という声に応えられることが実証できた。

今後の課題としては、地域全体で高齢者等の日常生活を支援する仕組みづくりの必要性を明らかにした。

氏 名：中川 雄貴

題 目：ローカル・ホテル・イノベーションによる地域活性化

一三重県津市美杉町における新規事業創出を通じて一

梗 概：本研究の目的は、加速度的に過疎化が進行する美杉町のローカル・ホテルが地域経済活性化の中間的求心システムとして、行政、市民、企業、地域住民など様々なセクターと横の繋がりをつくり、関係性モデルを構築し、地域経済活性化に向けたガバナンスを提唱するこ

とである。観光形態の変遷、旅行市場の動向と経済効果、さらには新たな旅行需要を分析し、それらが地方部においても有効であることと、地域に宿泊施設が存在することの優位性を示した。その上で、美杉むらのわ市場、Inaka Tourism の2つのプロジェクトとそこから生まれる産業連関を通して、内発的発展論、地域内再投資力、地元学、ウェルネス概念などの諸理論を組み合わせたローカル・ホテル・イノベーションを実証する。

